

自然の素晴らしさに感謝



北アルプス蝶ヶ岳山頂にて



中野市公民館報

2016

No.139
(通巻 No.671)

10

発行
中野市中央公民館

編集
文化なかの編集委員会

〒383-0025

中野市三好町一丁目4番27号

TEL 0269-22-2691

FAX 0269-26-2342

夏の市民登山教室

北アルプス蝶ヶ岳ちやうがたけ

中央公民館では、登山を通じて自然環境について考えるため、夏の市民登山教室を開催しています。今年8月20日から21日の2日間、32名の参加者が北アルプス蝶ヶ岳（2,677m）へ登りました。

登山コースは、安曇野市側の三股みつまた登山口から登り、樹林帯の中を通り抜け、蝶ヶ岳山頂直下の蝶ヶ岳ヒュッテで宿泊し、2日目は、山頂から上高地方へ下山するルートでした。初日は、夏の日差しと吹き抜ける爽やかな風を感じる登山のスタートでしたが、途中から雨にあう悪天候となりました。

天候に恵まれた2日目は、蝶ヶ岳山頂からの眺望や北アルプスの雄大な山脈を眺めることができました。帰りには「梓湖畔あずきはんの湯」も満喫し、自然の素晴らしさを感じた登山教室となりました。

第40回中野市婦人のつどい「苔玉づくり講座」

日時：平成28年11月25日（金）午前10時から11時30分

場所：中野市中央公民館 3階講堂

講師：碓井智子先生

受講料：無料 ただし教材費（お皿、苔、植物等）として700円が必要になります

持ち物：持ち帰り用の箱、または袋（ある方は、はさみ・ゴム手袋）

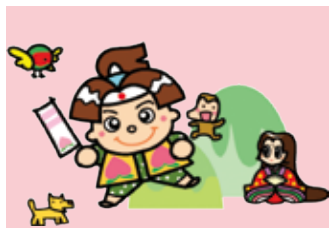
定員：30名

主催：中野市女性団体連絡協議会・中野市中央公民館

申込み：10月7日（金）から11月10日（木）まで

問合せ：中野市中央公民館 ☎22-2691





こども音楽講座

ミュージカルを楽しもう！

みんなで練習してきたミュージカル「ザ・ももたろーずファンタジー」

中央公民館では、昨年に引き続き8月9日～12日の4日間、子ども音楽講座「ミュージカルを楽しもう！」

を開催しました。

東京学芸大学准教授・ソプラノ歌手の島崎裕美先生を講師にお招きし、高校生から小学生までの16

名が参加しました。

参加した子どもたちは、専門の講師に学ぶことができ、日を追うごとに顔の表情、声の出し方など表現豊かになっていく様子がよくわかりました。

講師とともに記念撮影

この講座を通じて子どもたちは、コミュニケーション力、表現力などの「生きる力」が身に付き、保護者の前で発表した後は、自信と満足感に満ち溢れた表情をしていました。



レッスンに集中



決めポーズの練習

西部地区分館対抗

球技大会が開催される

西部地区分館対抗球技大会が、西部地区分館協議会と西部公民館の共催で9月4日（日）に開催されました。

この大会は西部公民館の開館当初より平野地区と高丘地区の交流・親睦を図るために行われており、本年度は第25回となる記念の大会となりました。

ゲートボールは、中野市屋内ゲートボール場にて8分館48名が参加し、激戦の末東江部分館が優勝しました。ソフトバレーボールは11分館175名が参加し、予選・決勝リーグを制した立ヶ花分館が、5年連続の優勝を飾りました。

どの分館も参加した選手と応援の皆さんとが一体となり、大いに盛り上がり、スポーツを通じて地域の親睦が図れた一日となりました。



東江部、立ヶ花分館が優勝しました

平成28年度優良先進公民館視察研修開催

市公民館では8月30日（火）に、安曇野市堀金公民館を会場に優良先進公民館視察研修を実施しました。当日は台風の影響で悪天候にもかかわらず公民館関係者16名が参加しました。

研修では、山田館長、大蔵係長から公民館の理念、運営方針、事業等の概要などを懇切丁寧に説明していただいたほか、改修したばかりの支所・公民館・図書館などを備えた複合施設を見

学させていただきました。

堀金公民館では、9地区公民館との連携を深めるため、各種スポーツ大会を開催しているほか、学社連携・協働の視点から月1回関係団体との情報交換を行い、ネットワーキングを大切に行っているなど今後の公民館活動において大いに参考となりました。

研修の後は、アートヒルズミュージアム、碌山美術館、大王わさび農場を見学し、有意義な研修となりました。



碌山美術館にて



研修会場の安曇野市堀金公民館

～サークル紹介～豊田公民館

倶楽部 our kids (アワーキッズ)

英語で遊んで学んじゃおう！

豊田公民館で活動するサークル「倶楽部 our kids、(アワーキッズ)」では4歳から12歳を対象に、子どもの英会話教室を毎週開催しています。

スタンキー真由子先生（豊田在住）の指導で、カード、ゲーム、歌、本などを通じ楽しく英語を学んでいます。

将来、ここで学んだ英語が子どもたちに役立てばと願っています。

今年の豊田公民館の文化祭では、英語劇（3匹の子豚ステージ発表）とフリーマーケットを計画しています。

皆様ぜひサークルの仲間になって下さい。お待ちしております。



英語を遊んで学んでいます

いんこちは分館

北大熊分館は、延徳小学校の北部に位置しており、戸数は88戸です。緑豊かな山々、緑のアスパラ畑、延徳たんぼの稲穂も風に揺れて黄金色に染まり、収穫期を迎えています。

活動としては、5月の智慧のだんご作りから始まります。続いて薬師堂の法要・慰霊祭・敬老会・智慧のだんごまき。このだんごまきは、区民の幸せと子どもたちの健やかな成長を願って、毎年行われています。そして、二年毎に行

う区民研修旅行、分館球技大会、四万八千日薬師堂夏まつり、盆踊り大会、人権教育懇談会、分館報の発行、どんど焼きとなります。

北大熊分館

6月26日に行われた区民研修旅行は、28名の参加で、いろいろな歴史ふれあい館を見学し、牟礼の天狗の館でゆつくりとした時を過ごしました。忙しい毎日ですが、人と人とのより良いふれあいを求めて、心豊かに暮らせたらと、役員一同奮闘しています。

(北大熊分館長 柴本 初男)



区民研修旅行～むれ温泉・天狗の館にて～

ふるさとの歴史

北大熊は大熊(南)区と篠井区との間にある山寄りの区で歴史に名前が出てくるのは、一五世紀中葉北信の守護上杉房定(ふささだ)に対し、高梨・村上連合軍が高井郡中野郷高橋の地(現高社老人ホーム)サッカー場周辺)で戦い、房定を敗死させるとい

う大事件(高梨の大乱)であり、寛正(一四六〇～六三)年間である。江戸時代に入り、寛政四年(一七九二)には城を持たない小藩越後椎谷藩領となり、六川庁の支配下

北大熊のかつての飲用水

となる。

北大熊は大昔より裏山の沢から湧き出る水を飲用水に利用していた。ところが弘化四(一八四七)年の大地震の際、湧水がピタッと止まってしまった。これには村人は大変困り

他へ移り住むことを考える者も出てきた。年貢収納者である村人の流出は藩にとっては大問題であった。

村役人はそのことを藩役人に訴え出、対策を考えた。裏山に貯水池を築き、その水を飲用水にする

ことになった。

村人たちは藩役人指導のもと池(堤)を築き飲用水を確保した。堤跡は現在も当時の面影を偲ばせている。現在の市内で、逆のことも起きている。大俣区では弘化の地震により、姥ヶ沢(うばがさわ)地籍から水が湧き出し、村への引水利用を計画し実践に移した。この水は現在も湧出している。

だが、工事技術の稚拙さから失敗してしまっただが、この水は現在も湧出している。

これらはいずれも地層内部に変化が起きたことに原因している。

(松沢 邦男)

「中野市成人式案内状送付封筒」へ掲載する広告を募集します

暮らしに役立つ広告をお待ちしています。

市の自主財源を確保し、市民サービスの向上を図るため、案内状送付封筒の裏面に有料広告を掲載していただける事業者などを募集します。なお、掲載の可否は、市の審査委員会で決定します。

封筒				広告		
種類	規格	発送方法	作成枚数	規格及び掲載枠	掲載位置	広告料(1枠あたり)
定形外「中野市成人式案内状送付」封筒	(縦)23.3cm × (横)12.0cm	市内文書配達員による使送又は郵送	700通 ※発送枚数は変動します	1枠のサイズ (縦)5.5cm × (横)9.0~18.0cm	枠数1枠 色数黒1色	4,900円 (消費税及び地方消費税を除いたもの。)

※2者以上の広告申請者があった場合、抽選となります。

【発送(使用)期間】2月ごろから4月下旬ごろまで

申込期限 所定の申込書により、12月2日(金)までにお申し込みください。

提出・問い合わせ先：中野市中央公民館 中野市三好町一丁目4番27号 電話0269-22-2691

今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/categories/kouminkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央 公民館	はじめての タブレット教室	①11月8日(火) 午後2時～3時30分 ②11月15日(火) 午後2時～3時30分	中央公民館 講 堂	ドコモショップ 中野店	<注 意>両日とも講義内容は一緒 です。どちらか一日の申込になります。 <定 員>9名(定員になり次第受付終了) <受講料>無料 <持ち物>なし(タブレットはお貸します。) <内 容>基本操作・ナビ(地図)操作など <申込み>10月7日(金)～
	地域の歴史講座	11月9日、30日、 12月7日 (全3回 毎回水曜日) 午後7時～8時30分	中央公民館 講 堂	北信濃歴史研究会 岩戸 貞彦 先生 館林 弘毅 先生 上原 一雄 先生	<定 員>60名 <受講料>無料 <申込み>10月11日(火)～
	年賀状作成講座	11月15日(火)、16日(水)、 17日(木) 午後1時30分～3時30分	中央公民館 教 室	新技術振興会の みなさん	<定 員>20名 <受講料>無料 <持ち物>ノートパソコン <申込受付>10月11日(火)～
公民館ギャラリー 水墨画展 2・3墨友会 10月3日(金)～10月31日(月)					
北部 公民館	秋の高原歩きです！ トレッキング 入門講座 (内容)テーマは「大人の 遠足」です。高原を歩いて、 健康づくりと景観の再発 見を。帰りは、温泉巡り に入ってゆったりします。	11月5日(土) 午前8時30分～午後5時 (予定) ※登山のできる服装等 でご参加ください。	斑尾高原 (万坂峠～斑 尾山頂～ま だらおの湯) ※集合場所 は、北部公民 館です。現地 へはバスで 移動します。	NPO法人 よませ自然学校 長 畔上正雄 先生 中野山岳会 長 鈴木一成 先生	<定 員>20名 <受講料>500円(傷害保険料ほか) ※入浴料は別途 <持ち物>雨具、防寒着、帽子、 飲み物、昼食、入浴セット <申込み>10月14日(金)から <その他>帰りは、まだらおの湯 で温泉に入ります。なお、10人に 満たない場合は、開講を中止する 場合があります。
西部 公民館	ゆったり ヨガ教室 第2弾 	10月11日、18日、25日、 11月8日 (全4回 毎回火曜日) 午後1時～2時30分	西部公民館	黒岩あずさ先生	<定 員>20名 <対 象>女性 <受講料>無料 <持ち物>運動のできる服装、フェイ スタオル、水分補給用の飲み物、ヨガ マットもしくはバスタオル <申込み>随時受付中 <その他>託児あります。
	笑いヨガ教室 	11月24日、12月1日、 8日 (全3回 毎回木曜日) 午前10時30分～正午	西部公民館	ラフターヨガ ティーチャー 宮崎 栄子 先生	<定 員>20名 <対 象>成人 <受講料>無料 <持ち物>上履き <申込み>随時受付中
豊田 公民館	高齢者学級<健康でいつまでも> 永田でも音楽で 脳がイキイキ！ (内容)歌ったり、音楽に合 わせてからだを動かし、脳 を活性化します。	11月8日(火) 午後2時～3時30分	永田地区館 会議室 (※永田窓 口サービ スステ ーション 内)	山崎 みや子 先生	<定 員>20名 <対 象>永田地区の方優先 <受講料>無 料 <申込み>随時受付中
	いきがいづくり・教養講座 高野辰之童謡の魅力 (内容)高野辰之が作詞 した「朧月夜」「紅葉」「故 郷」などの童謡の世界に 親しみます。	11月2日(水) 午後1時30分～3時30分	豊田公民館	近代文学研究者 堀井 正子 先生	<定 員>50名 <受講料>無 料 <持ち物>筆記用具 <申込み>随時受付中
	いきがいづくり・教養講座 ワイン講座 (内容)ボジョレーだけじゃ ない!いろいろな国の新酒を 楽しみましょう!	11月19日(土) 午後3時～5時	豊田公民館	日本ソムリエ協会 認定講師 宮澤 利彦 先生	<定 員>20名程度 <対 象>成人※試飲あります <受講料>1,000円 <申込み>11月4日(金)まで



輝きのはじまり／田麦 (kazu)



高社山登山／高社山 (宮澤)

花郷

はなさと
Flower Home

花と季節の 写真 募集

宛先

〒383-0801 中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館 ☎22・2691
Eメール c-koninkan@city.nakanonagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表で最近の写真に限り、氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送ってください。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝えください。随時募集！



上今井の夏／上今井 (山本美由紀)



お盆に咲いたキツネのカミソリ／田麦 (長嶺)

輝いています

「遊農学舎」のみなさん



これが楽しみだ！



「遊農学舎」は、間山区三原組と周辺の元気なおじさん達が集まり、平成十五年から地元の不耕作地にコスモスやひまわり、赤蕎麦などの景観作物を付し、地元を訪れる人たちの目を楽しませてきました。現在は蕎麦を中心に栽培し収穫した蕎麦は、石臼で粉を挽き間山公民館等のイベントで手打ち蕎麦を振る舞い毎回、好評となっています。地元では、年々増加する不耕作地を仲間たちが年五回程度、ボランティアで除草や耕起を行い「荒れない農地」を維持しています。作業の後は、仲間たちで共通の課題を肴に夢を語り合いながら酌み交わす一杯は何とも言いえない至福の時間です。



中野市は、環境保全に関する普及啓発のシンボルとして、エコマークを使用しています。この広報紙に使用している紙、インクは環境にやさしいエコマーク認定商品です。